

確申・還付

令和 年度 市民税・府民税 申告書

(令和 年分所得) [] [新規・増・減・増減なし]

申告書番号

(あて先) 八尾市長
令和 年 月 日提出

住所	(1月1日の住所) ※八尾市外に居住されていた場合は裏面8へ 八尾市	(現住所) <input type="checkbox"/> 同左
氏名	(生年月日)	
個人番号		

資料番号	
開業・廃業	

受付印

◇すべての項目に記入してください。
個人番号については、申告書の提出の際、マイナンバー確認書類と本人確認書類が必要です。

申告する方 (窓口にて代理人が来る場合は代理人) 続柄

★源泉徴収票、各種領収書などは添付台紙に貼ってください。

前年中 (令和 年1月1日～)

甲 下記の者の扶養又は援助を受けていた。

住所 氏名 続柄

雇用保険 生活保護

◇源泉徴収票の支払金額欄の金額を「カ」欄に記入してください

事業	営業等	ア	
	農業	イ	
	不動産	ウ	
	利子	エ	
	配当	オ	
	給与	カ	
	公的年金等	キ	

所得から差し引かれる金額に関する事項

13 雑損控除	損害の原因	損害年月日	損害を受けた資産の種類	損害金額	扶養等により補てんされる金額	差し引く金額のうち災害関連支出の金額
14 医療費控除	A 支払った医療費等	B 保険金等で補てんされる金額	C 総所得金額等の5%又は10万円			
15 社会保険料控除	D 国民健康保険料	E 後期高齢者医療保険料	F 介護保険料			
	G 国民年金保険料	H 源泉徴収票の記載金額	I その他			
17 生命保険料控除	J 新生命保険料(一般)	K 新個人年金保険料	L 介護医療保険料			
	M 旧生命保険料(一般)	N 旧個人年金保険料				
18 地震保険料控除	O 地震保険料	P 旧長期損害保険料				

◇生命保険料・地震保険料・社会保険料等の控除については、源泉徴収票に内容が含まれている場合は記入不要です。追加分がある場合は記入してください。
※領収書・証明書等の添付が必要な場合があります。

本人該当	19 寡婦・ひとり親控除	20 勤労学生控除	21-1 障害者控除
	死別 離婚 その他	(不労所得10万円以下かつ合計所得75万円以下の人) (学校名)	身体 療育 精神 級 特別 度 その他
22-23 配偶者特別控除	配偶者の氏名	生年月日 続柄	21-2 障害者控除
	明・大 昭・平	妻 夫	身体 療育 精神 級 特別 度 その他
	個人番号	配偶者の収入金額 配偶者の合計所得金額	
	同居 別居	円 153	
24 扶養控除	氏名	生年月日 居住形態 続柄	21-3 障害者控除
	明・大 昭・平	同居 別居	身体 療育 精神 級 特別 度 その他
	個人番号	明・大 昭・平	同居 別居
	個人番号	明・大 昭・平	同居 別居
	個人番号	大・昭 平・令	同居 別居
	個人番号	大・昭 平・令	同居 別居
	個人番号	大・昭 平・令	同居 別居

◇ひとり親、寡婦、障害者、勤労学生に該当する場合や、扶養親族がおられる場合は記入してください。
扶養親族と別居されている場合は、裏面「(12) 別居の扶養親族等に関する事項」についてもご記入ください。
※障害者の場合は障害者手帳、勤労学生の場合は学生証の提示またはコピーを同封の添付書類台紙に貼ってください。
また、扶養親族のマイナンバーの記載もお忘れなくお願いします。

【市民税課処理欄】ここから下の欄は記入しないでください。

個人番号確認欄

本人 扶養

調整控除	控配	扶養	16歳未満	扶養障害	本人障害	寡	勤	均のみ	住民税	生活	
	有	老	定	同	老	他				区分	
	1	2						1	2	1	2
加工転記欄	145 生保			147 地震							
				284				283		480,000	

シカ配同老他同特他定16歳

加工 131 住借額 円 160 可能額 円

取得内容 5%・8%・10% 159 住借残額 円

居住年 H・R 年 月 日

(1) 事業・不動産所得に関する事項

所得の種類	所得の生ずる場所	収入金額		必要経費	
売上金額	ア	円		売上原価	1
受取手数料	イ			減価償却費	2
雑収入	ウ			地代家賃	3
	エ			租税公課	4
	オ			水道光熱費	5
	カ			交通費	6
	キ			修繕費	7
	ク			通信費	8
	ケ			消耗品費	9
家賃収入	コ			雑費	10
地代収入	サ				11
権利金等	シ				12
更新料	ス			経費合計(1~12の計)	B
その他	セ			専従者控除	C
収入合計(ア~セの計)	A			青色申告特別控除額	D
				差引所得金額(A-B-C-D)	

※差引所得金額を表面の①~③のいずれかに記入してください

(2) 給与収入（源泉徴収票のない方等の記入欄）

月	月収	社会保険料	勤務先名
1		円	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
賞与等			
合計金額	A	B	Aを表面カに、Bを表面Iに転記してください。

※上記(1)(2)で申告した内容については、収支内訳書、源泉徴収票、給与明細その他の収入が明らかとなる書類がない限りは、後日変更できませんのでご注意ください。

※源泉徴収票・各種領収書等は、この申告書に貼らずに同封の添付台紙に貼ってください。

上記 (1)事業 (2)給与

◇あなたの給与の収入金額が850万円を超え、あなた、配偶者もしくは扶養親族のいずれかが特別障害者である場合、又は23歳未満の扶養親族がいる場合は、該当者について記入してください。

(3) 事業専従者

氏名	専従者給与(控除)額
	円
個人番号	
所得税に	承認なし

(4) 雑所得

種目	所得金額
生ずる	① - ② 円

(5) 配当所得に関する事項

配当所得の種類	所得の生ずる場所	支払確定年月日	収入金額①	必要経費②	所得金額①-②
			円	円	円

(6) 配当割額又は株式等譲渡所得割額の控除に関する事項

特定配当等に係る所得金額、特定株式等譲渡所得金額を総所得金額に含め、配当割額又は株式等譲渡所得割額の控除を受けようとする場合は、下の各欄に配当割額及び株式等譲渡所得割額を記入してください。

配当割額控除額	円
株式等譲渡所得割額控除額	円

(7) 寄附金に関する事項

都道府県・市区町村	円	条指定分	大阪府	円
大阪府共同基金会、日本赤十字社大阪支部			八尾市	

※支出した寄附金に応じて、各欄にそれぞれ寄附した金額を記入してください。ただし、認定特定非営利活動法人及び特例認定特定非営利活動法人以外の特定非営利活動法人に対する寄附金については、上欄に記入せず、別途「寄附金税額控除申告書(二)」を提出してください。

(8) 令和 年1月1日現在八尾市外に居住されていた方の申告欄

令和 年1月1日現在の居住地の住所

八尾市内に家族を住まわす家屋敷(単身赴任の場合など)又は事業所の有無 あり なし ありの方は下記に記入してください。

家屋敷・事業所の所在地

八尾市 屋号

(9) 所得金額調整控除に関する事項

氏名	生年月日	居住形態	続柄	特別障害者に該当する場合	度級
	明・大・昭 平・令	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居			
個人番号					

(10) 総合譲渡・一時所得の所得金額に関する事項

	収入金額①	必要経費②	差引金額③(①-②)	特別控除額④	所得金額⑤(③-④)
総合譲渡	円	円	円	円	円
短期					
長期					
一時					
合計	①+[(①+③)×1/2]				円

右上のイの金額を表面のロに、ロの金額を表面のサに、ハの金額を表面のシに記入してください。右の二の金額を表面の⑩の所得金額欄に記入してください。

(11) 事業税に関する事項

非課税所得など	番号	所得金額	円
損益通算の特例適用前の不動産所得			円
事業用資産の譲渡損失など	資産の種類	損失額、被災損失額(白)	円
前年中の開(廃)業	開始・廃止	月	日
<input type="checkbox"/> 他都道府県の事務所等			

※この申告書を提出した人は、事業税の申告書を提出する必要はありません。

(12) 別居の扶養親族等に関する事項

氏名	住所

(13) 給与・公的年金等に係る所得以外の市・府民税の納税方法

※令和 年4月1日現在65歳未満の方は給与以外の所得

給与から差引き(特別徴収) 自分で納付(普通徴収)

【摘要欄】

↓この欄は記入しないでください。

点検欄	徴区	年税額	障・寡	配特確認	扶	コ	修正票	連絡せん	スキャン	番号登録	メモ追加	処理	確認
			増±0 減	済 不要	済 不要	済 不要	済 不要	済 不要	済 未	済 未	済 未	単年 □ 通年 □ 画像 □	